資料５

読書バリアフリーの推進について（電子書籍の導入等）

１　概要

「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」（読書バリアフリー法。令和元年６月施行）第９条第１項において、地方公共団体は、視覚障害等のある人が利用しやすい書籍等の充実や図書館の利用に係る体制の整備について、必要な施策を講ずることとされている。

また、今年度から、「岡山県視覚障害者等の読書環境の推進に関する計画」（第２期読書バリアフリー計画。令和８～12 年度）が開始したことも踏まえ、当館の読書バリアフリー環境の更なる充実を図る。

２　内容

（１）電子書籍サービスの新規導入

文字拡大・音声読み上げといったアクセシビリティ機能を有する電子書籍を導入し、あらゆる人が時間や場所を選ばす読書に親しめる環境を整える。

ア　導入予定サービス

㈱紀伊國屋書店「KinoDen」（キノデン）

※令和８年７月 24 日に実施した公募型プロポーザルで決定

イ　サービス概要

・通信環境を有するスマホやタブレット、PC などを使い、県立図書館のマイライブラリーから利用カード番号とパスワードでログインして利用する仕組みを想定

・コンテンツの同時接続は１

・システムメンテナンス等を除き 24 時間 365 日利用可能

ウ　コンテンツの分野（サービス開始時）

・暮らしや仕事に関する課題解決支援のための資料（専門書、実用書、参考書等）

・調査・研究のための資料（事典・辞書、学術書、研究書等）

・児童生徒の学習支援となる資料（図鑑、探究学習や調べ学習に役立つ資料等）

・岡山に関する資料（岡山を主題とする資料、岡山県に関係の深い人物を扱った資料等）

エ　スケジュール

令和８年９～10 月　図書館業務システムの改修

コンテンツの選定（文字拡大、音声読み上げ機能があるものを中心に選定）

11 月　サービス提供開始（700 コンテンツ程度で開始し、順次拡充予定）

（２）読書サポート機器の更新等

館内に設置している読書サポート機器が古くなっているため、更新等を行う。

ア　主な整備機器（予定）　音声拡大読書器、オンライン対面朗読用 PC、携帯型 OCR マルチプレイヤー、AI 自動翻訳機　など

イ　整備時期　今年度中